

一般乗合旅客自動車（ワンマン）

大型ディーゼルノンステップバス

購入仕様書

（社団法人日本自動車車体工業会 バス車体規格準拠）

令和6年度

仙台市交通局

I 一般事項

- 1 件名 令和6年度 大型ディーゼルノンステップバス購入
- 2 数量・納入場所
- | 数量 | 名称 | 住所 |
|------|--------|--------------------|
| 納入場所 | 川内営業所 | 仙台市青葉区荒巻三居沢1 |
| | 白沢出張所 | 仙台市青葉区上愛子下十三枚田30-1 |
| | 実沢営業所 | 仙台市泉区実沢字宮西8 |
| | 七北田出張所 | 仙台市泉区八乙女中央三丁目7-55 |
| | 東仙台営業所 | 仙台市宮城野区燕沢一丁目27-10 |
| | 霞の日営業所 | 仙台市若林区かすみ町9-1 |
| | 長町営業所 | 仙台市太白区長町五丁目8-18 |
| | 交通局 | 仙台市青葉区木町通一丁目4-15 |
- 上記の中で仙台市交通局が指定する場所。
- 3 納入期限 令和 7年 3月21日
- | 納入 | 第1期 | 令和 7年 2月下旬 | 8両 |
|----|-----|------------|----|
| | 第2期 | 令和 7年 3月中旬 | 7両 |
- 上記の分納する数量については、現段階のものであり、別途、仙台市交通局が指定する。
- 4 支払い 分納期限までに指定数量を納入し検査合格後、物件の引渡しを完了した場合には、当該引渡し部分にかかる契約代金を請求することができるものとする。

II 総則

- 1 適用 本仕様書は、令和6年度にIのとおりに購入する一般乗合旅客自動車（以下「乗合自動車」という。）に適用する。
- 2 概要 車掌を乗務させないで運行することを目的とした乗合自動車で、「道路運送車両法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）、「道路運送車両の保安基準」、「旅客自動車運送事業等運輸規則」その他関係法令、通達に適合し、型式の指定を受けていること。また、2015年以降標準仕様のノンステップバスとして国土交通省の認定を受けていること。
- 3 当事者 本仕様書において、「甲」とは、売買契約を締結した発注者の仙台市交通事業管理者をいい、「乙」とは、その受注者をいう。
- 4 製作 本仕様書に基づいて乗合自動車の製作および試験調整を行い、引き渡すこと。
なお、本仕様書に記載のない事項であっても、乗合自動車の機能・特性を発揮するために当然必要と認められるものも含まれるものとする。また、軽微な仕様変更、納入期限変更についての費用を甲は負担しないものとする。
本仕様書に疑義が生じた場合は甲乙、協議し定めることとする。
- 5 特許権等の使用 特許権その他第三者の権利の対象となっている製作方法等を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負うこと。
- 6 検査
- 6-1 中間検査 検査は、本仕様書及び製作図書類により甲が行う。
検査は、中間検査願により、乗合自動車の製作工場において行うものとする。
- 6-2 完成検査 検査は、本仕様書・製作図書類及び中間検査指摘事項により甲が行う。
- 7 登録
- 7-1 登録の代行 乗合自動車製作完了後、新規登録のための手続きを代行し、東北運輸局宮城運輸支局長の行う当該検査に合格させること。
登録番号については、希望番号とし甲より乙へ別途連絡を行なう。また、地方版図柄入りナンバープレート、フルカラー版とすること。
- 7-2 登録の費用
- (1) 乙は、登録に必要な手続き及び費用について適切な情報提供と共に、自動車重量税・自動車税(環境性能割)・自動車リサイクル料金の請求を甲の様式による請求書により行い、甲は請求のあった日から2週間以内に支払うものとする。
- (2) 乙は、自動車損害賠償責任保険の請求を登録予定日の2週間前までに車台番号を記載した書面で行い、甲は登録予定日の前日までに証書を引き渡すものとする。
- (3) 自動車重量税・自動車税(環境性能割)・自動車リサイクル料金及び自動車損害賠償責任保険以外の新規登録に要する費用は、本契約に含まれるものとする。
- 8 提出書類
- 8-1 提出書類
- (1) 以下に掲載する書類を提出すること。
- (2) 図面は、A2判またはA3判とすること。
- (3) 提出書類はすべて日本語で表記すること。
- (4) 契約後、工程表を提出すること。
- (5) 書類提出後変更が生じた場合は、直ちに変更理由を示して再提出すること。
- (6) 売買契約締結後、車両価格（標準価格と特別仕様の価格）の内訳書を提出すること。…………… 2部
- 8-2 製作図書類 製作図書類は以下のとおりとし、各2部を提出し1部を承諾の上返却するものとする。
- (1) 外装デザイン図
- (2) 乙の制作仕様書
- (3) 本仕様書で示した箇所
- (4) その他、甲が指示したもの

8-3 完成図書

完成図書は次のとおりとし、乗合自動車納入時に提出すること。

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| (1) 車体三面図 | 2 部 |
| (2) 重量分布計算書 | 2 部 |
| (3) 自動車検査証の写し | 2 部 |
| (4) 諸元表（参考図S-1の様式） | 2 部 |
| (5) 車台番号一覧表 | 2 部 |
| (6) 乗合自動車を整備するために製造会社が発行しているすべての整備解説書 | 6 部 |
| (7) 部品カタログ（ボディー部品を含む） | 6 部 |
| (8) 配線図（ボディー・シャシ・電装品及びワンマン機器等） | 6 部 |
| (9) 取扱説明書 | 6 部 |
| (10) 写真 | 1 部 |
- 全車両について提出すること。（カラー、A4 ファイル、電子データ《媒体はCDまたはDVDとする》）
車両外観（前面・後面・左右側面）、室内（前部・後部）、車内各部所（本仕様書で承諾を求めた箇所等）
(11) 上記（1）車体三面図、（8）配線図については、電子データ《媒体はCDまたはDVDとする》でも提出すること。
(12) その他、甲が指示したもの

8-4 報告書

- (1) 社内中間検査報告書
乙による、乗合自動車の製作工場における社内中間検査報告書は、中間検査願とともに提出すること。
- (2) 中間検査報告書
中間検査時に甲により指摘された事項の検査作業報告書は、検査後に提出すること。

8-5 検査願

- (1) 中間検査願
乙による、乗合自動車製作工場における社内検査終了後、提出すること。
- (2) 完成検査願
納入日決定後速やかに、提出すること。

8-6 その他

- (1) 議事録
車両関係に伴う会議及び打ち合せ等の後、速やかに提出すること。
- (2) 納品書
車両納車時に提出すること。
- (3) 自動車税（環境性能割）申告書（報告書）〔控〕
登録後提出すること。
- (4) 標準仕様ノンステップバス認定書写し
登録後提出すること。
- (5) リサイクル券及び重量税領収書
登録後提出すること。

9 車両仕様

- (1) 各部の仕様については、「Ⅲ 仕様細則」にて規定する。
- (2) 同等品の使用については、図書による申し入れを行い承諾を得ること。
- (3) ボディー外部塗装デザイン及びデザインシール貼付については、契約後に指示する。
- (4) 学習機能等（オートマチックトランスミッション等）については、納入前に対応すること。
- (5) 新機能等がある場合は、申し入れを行い承諾を得ること。

10 支給品

- (1) 機器類は、「Ⅳ 支給品一覧」とする。
- (2) 機器類は、配送前及び車両取付後に機器製造業者により点検を行うこと。
- (3) 機器類の発送及び車両への取付位置は、甲と協議すること。
- (4) 機器類の配送及び梱包は乙が行うこと。また、引渡場所については別途指示をする。
- (5) 機器類の取付に伴う部材・製作・配線・結線等は乙が行うこと。
- (6) 車両配線の接続等は、「Ⅴ 主要機器接続一覧」及び「結線図」によるものとする。
- (7) (2)～(5)で発生する費用については、すべて本契約に含むものとする。

11 技術指導

資料作成のうえ、取扱説明・技術指導を行うこと。

12 会議及び打ち合わせ

乙は、甲の指示する会議・打ち合わせ等には必ず出席し、打ち合わせ議事録を速やかに提出すること。

13 保証

- (1) 購入後の保証期間は、車両メーカー保証基準に準じる。
- (2) 保証期間後の製造及び設計に伴う不具合は、保証の範囲を甲と協議すること。また、保障となりうる場合は、無償で速やかに本購入全車両に対応すること。
- (3) 甲より依頼された回送・性能試験等において発生した事故及び故障については、乙が無償で修復すること。
- (4) 納車後の5000Km走行時の点検整備は乙が無償で行うこと。
- (5) 甲より支給された装備品において、納車までに発生した事故及び故障については、乙が無償で修復すること。

14 その他

- (1) 乙は、保守補修を行える場所を所有し、12ヶ月定期点検を継続して受託できる能力があること。
- (2) 乙は、補修部品を速やかかつ安定的に供給できる体制であること。

Ⅲ 仕様細則

S シヤシ・エンジン関係						
区分	項 目			仕 様		備 考
S100.	車両形式	110	車名			
		120	形式			
		130	全寸法	131	全長	10,420～10,900 (mm)
				132	全幅	2,490 (mm)
				133	全高	2,850～3,100 (mm)
		140	オーバ・ハング	141	フロント	メーカー標準
				142	リヤ	メーカー標準
		150	ホイールベース			4,800～5,300 (mm)
S200.	車両重量	210	車両総重量			メーカー標準
		220	乗車定員	221	座席	メーカー標準
				222	立席	メーカー標準
				223	乗務員	メーカー標準
				224	計	メーカー標準
S300.	エンジン	310	冷却系統	311	ラジエータシャッタ	メーカー標準
				312	ファン	メーカー標準
		320	潤滑系統	321	オイルフィルタ	メーカー標準
		330	ターボチャージャー			メーカー標準
		340	吸気系統	341	エアクリーナー	メーカー標準
S400.	車軸関係	410	タイヤ	411	銘柄	ブリヂストン W900 (同等品以上)
				412	種類	ラジアル
				413	サイズ	275/70R22.5
				414	パターン	スタッドレスタイヤ
		420	ディスクホイール	421	サイズ	22.5×7.50-162
		430	ステアリング	431	パワーステアリング	チルト・テレスコが付いていること
		440	車高調整装置			降下方式：メーカー標準 (1) 下げ量 ① スロープ板角度は、7度以下とする ② ステップ高さ (270mm以下) まで降下すること (2) 降下及び復帰時間は、5秒程度とする (3) 車高上げ装置：メーカー標準 ① 上げ量は、30mm以上とする ② 上げ時間は、5秒程度とする (4) 扉連動は、「選択スイッチ付」で取付けること
S500	動力伝達装置	510	トランスミッション	511	コントロール方式	メーカー標準
				512	変速比	メーカー標準
		520	終減速機	521	方式	メーカー標準
				522	減速比	メーカー標準
		530	クラッチ	531	材質	メーカー標準
		540	自動変速装置			付
		610	排気ブレーキ			付
S600.	ブレーキ	620	A B S ブレーキ			付
		630	リターダ	631	方式	メーカー標準
				632	銘柄・形式	メーカー標準
		640	駐車ブレーキ	641	方式	ホイールバーク式
				642	銘柄・型式	メーカー標準
				643	取付位置	メーカー標準
				644	銘板	ホイールバーク作動方法 (75×85mm)
		660	停車補助装置			付
		670	EDSS (ドライバー異常時対応システム)			付 (メーカー標準)
S700.	電装品	710	オルタネータ	711	銘柄	メーカー標準
				712	型式	メーカー標準
				713	電圧	24V
				714	容量	180A以上
				715	レギュレータ	メーカー標準
		720	バッテリー	721	銘柄	G S 製 (同等品以上)
				722	形式	(1) メインは、210H52 (N200) とする。 (2) サブは、寒冷地におけるアイドリングストップ時のワンマン機器の電源として使用に耐えられること
				723	電圧	24V
				724	容量	メイン：160Ah サブ：36Ah以上
		730	メーター	731	スピードメーター	メーカー標準
				732	タコグラフ	なし
		740	ホーン			メーカー標準

区分	項 目				仕 様	備 考
S800.	その他	810	燃料タンク	811	容量	1 5 0 リットル以上
				812	取付位置	メーカー標準
				813	給油口	給油口はメーカー標準、または左右両側に取付けること
				814	その他	(1)タンクキャップは開閉し易い構造とすること。 (2)脱落防止として鎖でボディーに接続するか、 キャップ置きを備えること。 (2)暖房用燃料配管が備えてあること
		820	配管	821	ブレーキ配管	融雪剤に耐える材料を使用し、防錆処理を施すこと
				822	燃料配管	融雪剤に耐える材料を使用し、防錆処理を施すこと
		860	アイドリングストップ装置	861	構造	メーカー標準
		870	尿素タンク	871	取付位置	メーカー標準 増設オプションがある場合は取付けること
				872	給油口	メーカー標準
				873	その他	給油口裏面及び表面に「尿素水専用」銘板を取付けること
		880	牽引用エアパイプ			前後に取付
A 主要構造						
区分	項 目				仕 様	備 考
A100.	構造	110	構造		メーカー標準	
		120	出入口位置		(1)入口は、左ホイールベースの間とする (2)出口は、左フロントオーバーハング部とする	
		130	非常口位置		メーカー標準	
A300.	外板	310	外板		メーカー標準	
		320	雨樋		メーカー標準	
		330	フェンダー		メーカー標準	
A400.	内板	410	天井		メーカー標準	
		420	窓柱かぶせ		メーカー標準	
		430	腰板		メーカー標準	
		440	計器板		メーカー標準 ビビリ対策を行いブラインドリベット止めとすること	
		450	計器板下部		メーカー標準、点検ハンマーを縦面に取付けること	
		460	エンジンルーム隔壁		メーカー標準	
		470	カーテンカバー		メーカー標準	
		480	窓下縁材		メーカー標準	
A500.	ステップ	520	高さ	521	前扉口	メーカー標準(ニーリング時270mm以下、縁材含む) ステップ部の傾斜は5度以内とすること
				522	中扉口	メーカー標準(ニーリング時270mm以下、縁材含む) ステップ部の傾斜は5度以内とすること
		530	踏板	531	材質	
				532	奥行	
		540	縁材	541	前扉口	メーカー標準(両端カット、色：黄色)
				542	中扉口	メーカー標準(両端カット、色：黄色)
		560	水抜き穴	561	ステップ水抜き穴	なし
				562	引扉レール下水抜き穴	メーカー標準
		580	車いすスロープ板		メーカー標準(脱落防止付) (1)スロープ板の幅は、800mm以上とする (2)スロープ板の長さは、1,050mm以下とする (3)スロープ板の取付角度は、7度以下(150mmのパスベイ及びニーリング時)とする (4)表面は滑りにくい仕上げとすること (5)床材が安易に割れないように施工とすること (6)スロープ板の使用中はドアが閉まらない機能とすること。 (7)スロープ板の前後側面に反射テープ貼付けること (8)スロープ板の上面先端に傾斜があるときは注意喚起用テープ貼付けること (9)スロープ板の上面先端の傾斜により車椅子の乗り上げに支障がある場合は、補助板を設置とすること (10)補助板は格納とすること	
A600.	断熱	610	天井	611	断熱材	メーカー標準
		620	側壁	621	断熱材	メーカー標準
		630	エンジンルーム隔壁	631	断熱材	メーカー標準
				632	構造	メーカー標準

B 扉関係						
区分	項 目			仕 様		備 考
B100.	出入口扉	110	前扉	111	構造 メーカー標準 足挟み防止付き	
				112	有効開度 メーカー標準	
				113	軸受 メーカー標準	
				114	補助ローラー メーカー標準	
				115	ガイドローラ メーカー標準	
				116	手掛 (1)扉内側は、昇降用握棒を付けること (2)室内側の握り棒の高さは、750mmとする (3)室内側の握り棒の立上りは、150mmとする	
				117	扉ゴム メーカー標準(戸先スイッチ付)	
				118	扉下部防塵 (1)柔軟性があり耐久性に優れていること(ゴム板) (2)洗車機等の使用時は、水の進入が無いこと	
		120	中引扉	121	構造 引扉とする	
				122	有効開度 有効幅は、1,000mm以上とする	
				123	扉ゴム メーカー標準(戸先スイッチ付)	
				124	レール メーカー標準	
				125	戸車 メーカー標準	
				126	ガイドローラ メーカー標準	
				127	引戸振れ止め メーカー標準：戸当たり側に1組取付	
		150	扉窓	151	ガラス 前扉及び中扉は、強化熱線吸収グリーンガラスとする 表面に撥水コーティングを施工すること	
				152	窓ゴム メーカー標準	
		160	立席制限鎖	161	種類 鎖チューブの配色は、黄色とする	
				162	取付位置 床面から700mmとする	
B200.	引戸用戸袋	210	戸袋	211	構造 外側は、固定窓とする 内側は、室内側に開扉とし固定窓を付けること 扉はローレットねじ4本止めとする (緩み防止策をとること)	
				212	ストッパゴム BB114 中央部に1個を付けること	
				221	指詰防止装置 戸袋開口部内側柱に切欠ゴムを取付付けること	
		230	戸袋窓	231	ガラス メーカー標準(強化熱線吸収グリーンガラス) 表面に撥水コーティングを施工すること	
				232	窓ゴム メーカー標準	
B300.	扉自動開閉装置	310	戸閉機	311	方式 エア電磁弁式 W電磁弁付(空気保持型)	
				312	銘柄・形式 (1)前扉用 指定なし (2)中扉引戸用 泰平製TYS-30C(同等品以上)	
				313	取付位置 メーカー標準	
				314	カバー (1)点検が容易なカバーを取付けること (2)蝶番を使用する場合は、抜き差し蝶番とする	
		320	扉操作スイッチ	321	種類 メーカー標準 高耐久扉開閉スイッチ 銘板付	
				322	電気容量 DC24V, 5A	
				323	取付位置 運転席右スイッチボックス上面に、「前」・「後」扉用を銘板付で取付けること	別添参考図 (B-1) 参照
				324	車外前扉スイッチ 前扉非常解放コック付近にスイッチを取付けること	
		330	時限リレー	331	銘柄・形式 メーカー標準	
				332	取付位置 メーカー標準	
		340	間接確認装置	341	方式 赤外線方式 中乗：車内三光束式	
				342	銘柄・型式 泰平製DPX-93B-3B(同等品以上) (1)上下の発光部は後側に、受光部は前側に取付けること (2)下側受光部及び発光部にはステンレス製のカバーを付けること (3)下側後側は汚れ等の付着防止措置を取ること (4)配線は着雪に耐えること	
				343	取付位置 (車内) (1)上部 ①高さ：中扉ステップ最下端より400mmとする ②奥行：扉中心より120mmとする (2)下部1 ①高さ：中扉ステップ最下端より50mmとする ②奥行：扉中心より120mmとする (3)下部2 ①高さ：中扉ステップ最下端より50mmとする ②奥行：扉中心より90mmとする また、可能な限り、引戸の中心に近い位置に取付けること	
				344	解除スイッチ (1)切り放しスイッチを付けること (2)スイッチが作動している間は、 ①光電リレーのみの動作を停止すること ②パイロットランプが点灯すること ③警報ブザーが鳴動すること (3)スイッチは、作動状態を保持しない構造のもので、運転席右スイッチボックス内に取付けること	F841参照
				351	種類 開閉確認用として、前・中扉に取付けること	
				352	電気容量 DC24V, 5A	
				353	取付位置 戸閉機に取付けること	
		360	予告ブザー	361	種類 無接点ブザー、十分な音量があること。	
				362	銘柄・形式 ゴールドキング製 OGBA-65	別添参考図 (B-2) 参照

			363	取付位置	中扉部前側上部に表示パネルを確認できるように取付	
--	--	--	-----	------	--------------------------	--

区分	項 目				仕 様	備 考
B300.	扉自動開閉装置	370	扉非常開放コック	371 種類	三方コック (1)前扉・中扉用を取付けること (2)レバーの配色 ①車内側を赤色とすること ②車外側を黒色とすること	
				372 方式	(1)前扉・中扉用は、室内外操作式とする (2)非常用開放元コックは、前扉用コックとする (3)前扉用コック開放時は、中扉も手動で開閉可能なこと	
				373 取付位置	(1)前扉用は、ダッシュ盤左床上とする (2)中扉用は、後部床上戸当側とする	
		380	機能	381 前扉	(1)車内 ①スイッチ操作により開閉すること ②扉が閉まりつつある時は、開扉動作はスイッチの操作に即応すること ③扉が開くと戸閉スイッチがONとなり、アクセルインターロックが作動し、戸開知らせ灯が点灯すること ④メイン電源を切にしたときは、扉の状態を保持すること (2)車外 ①スイッチの操作により開閉すること ②前扉スイッチの状態及びメイン電源の入切によらず開閉できること ③前扉閉動作後は通電しないこと	
				382 中扉	(1)中扉スイッチの操作により開閉すること (2)中扉スイッチの操作後、0.5～0.8秒予告ブザーが吹鳴したのちに開閉すること (3)扉が閉まりつつある時（戸先と戸当たりの隙間が10mm以上）は、開扉動作はスイッチの操作に即応すること (4)扉が開くと戸閉スイッチがONとなり、アクセルインターロックが作動し、戸開知らせ灯が点灯すること (5)戸閉スイッチは戸先と戸当たりの間隔が10mm以内で作動し、OFFとなるよう調整することを標準とすること (6)扉が開いているときに、乗客が間接確認装置の光軸を遮れば扉スイッチを「閉」にしても扉は閉まらず、乗客知らせ灯が点灯すること (7)扉が閉のときに、乗客が間接確認装置の光軸を遮っている場合は、扉は開かない (8)戸先と戸当たりの間隔が10mm以上の時は、光軸等の安全装置が作動中の場合には直ちに開くこと、または、戸先スイッチに圧力を感じた場合に開くこと (9)扉が閉まりきったあとは、走行中に扉が開かないように二重安全機能とすること (10)メイン電源を切にしたときは、扉の状態を保持すること	
			戸先スイッチ	391 銘柄・型式	泰平製DFS-2またはDFS-4（前扉・中扉）（同等品以上） カールコードが見えない様に取付けること	
				392 機能	扉「閉」操作時、スイッチに圧力を感じた場合 (1)警告音が鳴動すること (2)扉が反転して開くこと (3)乗客知らせ灯が点灯すること	F420参照
				393 取付位置	(1) 前扉 ①グライドスライドの場合は、後側扉の戸先とする ②折戸の場合は、後側扉の戸先とする (2)中扉は、引戸のボディと接触する戸先とする	
				394 解除スイッチ	(1)作動状態を保持しない構造のもので、運転席右スイッチボックス内に取付けること (2)押下時 ①前扉・中扉がそれぞれ単独で、戸先スイッチのみの動作を停止すること ②警告音が鳴動し、警告灯が点灯すること	F841参照
B500.	開扉発車防止装置	510	アクセルインターロック	511 方式	エア電磁弁式（同等品以上）	
				512 銘柄・形式	メーカー標準	
				513 取付位置	運転席部に取付けること	
				514 機能	(1)作動は、アクセルペダルが踏み込めない構造か、エンジン回転を抑制するものとする (2)前扉・中扉の何れかが「開」時か、または、両方「開」時に作動すること (3)解除スイッチを前扉非常コック内に取付けること (4)OFF（解除）でパイロットランプが点灯し、警報ブザーが吹鳴すること	
		520	ニュートラルシフトロック	521 方式	メーカー標準	
				522 銘柄・形式	メーカー標準	
				523 取付位置	メーカー標準	
				524 機能	メーカー標準	

区分	項 目				仕 様	備 考	
B600.	非常扉	610	構造	611	仕様	メーカー標準 扉下面に水抜穴（φ10）を2個設けること	BB052参照
				612	内板	メーカー標準	
		620	開閉機構	621	開閉仕様	BB053 (1)分解ができて注油点検が容易に行えること (2)開き位置で保持する装置を付けること	
				622	レバー	メーカー標準	
		630	窓	631	構造	メーカー標準	
				632	ガラス	メーカー標準（強化熱線吸収グリーンガラス） 表面に撥水コーティングを施工すること	
				633	窓ゴム	メーカー標準	
		640	警報ベル用スイッチ	641	ハンドルカバー用スイッチ	メーカー標準	
				642	ストップパ用スイッチ	メーカー標準	
		650	引手			着席時、乗客の肘が当たらない位置に取付けること	
B700.	点検扉 （走行装置用）	710	扉ロック装置			メーカー標準（扉開保持装置付） （合いマーク付き、B700、B800に同じ）	
		720	エンジンルーム扉			扉左側に乗降中表示灯が取り付けられる構造とすること	
		730	給油口蓋	731	メイントank給油口蓋	メーカー標準（横開き） (1)車体側面裏蓋に「軽油」と表示すること (2)蓋に鍵を付けること (3)燃料キャップ置きを付けること (4)給油口全周にステンレス枠を取付けること	
		740	注水口蓋	741	メインエンジン注水口蓋	メーカー標準（横開き） 銘板：裏蓋に「水」取付け	
				742	尿素水注水孔蓋	メーカー標準 銘板：蓋表面及び裏面に「尿素水専用」取付け	
		750	バッテリー格納庫扉			(1)扉開度は上方に約180度とすること (2)開き位置に保持装置を付けること (3)蓋は、防錆処理を施すこと (4)点検給水が容易なものとすること (5)水が庫内に入らない構造にすること	
		760	集中給油装置点検蓋			なし	
		770	扉非常開放コック蓋			メーカー標準 室内側蓋には赤枠の中に「非常コック」赤文字記入のこと	
		780	オイルレベル点検蓋			なし	
B800.	点検扉 （床下擬装用）	810	暖房装置点検扉			メーカー標準：開き位置保持装置付	
		820	冷房装置点検扉		同上	メーカー標準：開き位置保持装置付	
		830	引戸レール点検蓋	831	上部レール点検蓋	室内側上部に取付 ローレットビス止め （緩み防止策をとること）	
				832	下部レール点検蓋	(1)ストッパーゴムが交換できること (2)ゴミ等が除去できること	

C 窓関係							
区分	項 目				仕 様		備 考
C100.	窓	110	前面窓	111	構造	メーカー標準	
				112	ガラス	メーカー標準（合わせグリーンガラス）	
				113	窓ゴム	メーカー標準	
		120	後面窓	121	構造	メーカー標準	
				122	ガラス	メーカー標準 （強化または合わせ熱線吸収グリーンガラス） 表面に撥水コーティングを施工すること	
				123	窓ゴム	メーカー標準	
		130	側面窓	131	構造	メーカー標準 (1) 上部は、引違窓とする (2) 下部は、固定窓とする (3) 運転席右側は、引違窓とする (4) 特殊部窓は、固定窓とする	
				132	窓枠	メーカー標準 配色は、黒またはブロンズとする	
				133	ガラス	メーカー標準（強化熱線吸収グリーンガラス） 車外より乗客の膝が見える場合は対策すること 表面に撥水コーティングを施工すること	
				134	窓ゴム	メーカー標準	
				135	サッシュロック	メーカー標準	
		140	運転席窓	141	構造	引違窓	
				142	ガラス	メーカー標準（強化熱線吸収グリーンガラス） 表面に撥水コーティングを施工すること	
				143	窓ゴム	メーカー標準	
C200.	方向幕窓	210	前方向幕窓	211	構造	BC102-A (1) 車体前面上部に取付けること (2) 系統幕と分割した方式を採用している場合は、窓をフィルムで仕切ること	
				212	ガラス	メーカー標準：ヒーター入り 表面に撥水コーティングを施工すること	
				213	窓ゴム	メーカー標準	
		220	側方向幕窓	221	構造	BC104-B (1) 中扉戸袋前側面上部に取付けること (2) 側面窓ガラスと兼用とする	
				232	ガラス	メーカー標準 表面に撥水コーティングを施工すること	
				233	窓ゴム	メーカー標準	
		230	後方向幕窓	231	構造	BC001（吊り下げ式） (1) 後部上部に取付けること (2) 窓硝子とケース間に防塵ゴム取付けること (3) 後面窓ガラスと兼用とする	
				232	ガラス	メーカー標準 表面に撥水コーティングを施工すること	
C300.	行先表示器	310	銘柄			レシップ製LED行先表示器（本体のみ支給） (1) 配線及び支給品を取付けること（スタッドボルト・ナット付き） (2) 行先表示器の取付付近に電源配線を敷設（+-：1.75mm）すること	
		320	前行先表示器	321	型式	レシップ製DFE-C11WW-00（支給品）	別添参考図 （C-1）参照
		330	側行先表示器	331	型式	レシップ製DFE-C22WW-00（支給品）	別添参考図 （C-2）参照
		340	後行先表示器	341	型式	レシップ製DFE-C33WW-00（支給品）	別添参考図 （C-3）参照
		350	操作スイッチ	461	操作盤	レシップ製OBCビジョンに連動	K131参照
		360	制御装置	361	機能		
C500.	方向幕裏蓋	510	前方向幕用	511	構造	(1) 2～3分割式で「開時」保持鎖を付けること（ビニルパイプ被せ） また、上部の鎖が外せること (2) 中央蓋は下蝶番式で8mmステンレス製ボルト頭部の2面巾12mm先テーパ付4箇所止めとすること (3) OBCビジョンの取付に耐える構造であること (4) 裏蓋を開いた時、前扉及びルームミラーに干渉しないこと (5) 前・側・後方向幕ボックス内面の天井・側・底面にウレタンフォーム張りとすること	
		520	側方向幕用	521	構造	(1) 上蝶番式で開保持鎖付（ビニルパイプ被せ） (2) カバー下面に保護パット取付け、突起物のないこと (3) ロック装置はつまみ埋め込み式またはローレットボルト止めとすること	
		530	後方向幕用	531	構造	吊り下げ式 (1) 下蝶番式で開保持鎖付（ビニルパイプ被せ） (2) ロック装置はバッチン錠式	

D 床関係					
区分	項 目			仕 様	備 考
D100.	床構造	110	客室床構造	メーカー標準	
		120	運転席床段揚げ	付	
		130	後部床段揚げ	(1) 通路段差は、1 段あたり200mm以下とする (2) スロープを併用する場合はスロープ角度を5 度以下とすること (3) スロープと段差の間に300mm程度の水平部分を設けること 	
		140	通路	(1) 乗降口付近を除く低床部の通路には段差やスロープを設けないこと (2) 車椅子移動する部分の通路幅は800mm以上とすること (3) 前輪等による車内への干渉部から後方の低床部のすべての通路幅を800mm以上とすること (4) 低床部以外の通路スロープ角度は5 度以下とすること	都市型座席配列の場合
D200.	床張	210	床板	板厚は、仕上げ15mm以上の上張付きとする (耐水合板:BD001-B)	
		220	221 通路部	IMV200-GR (同等品以上) (1) 滑りにくい材質又は、仕上げにすること (2) 接合部は、V字型にカットして溶着すること (3) 配色は、黄赤に対し明度差1.5以上とする	
			222 シート下部	IMV200-GR (同等品以上) 配色は、黄赤に対し明度差は1.5以上とする	
			223 フェンダ部	IMV200-GR (同等品以上) 配色は、黄赤に対し明度差は1.5以上とする	
			224 トーボード部	メーカー標準 (1) 脱着可能なマットを取付けること (2) クラッチペダル用フットレストを取付けること	
			225 床段差部	メーカー標準 (1) 滑りにくい材質又は仕上げにすること (2) 配色は、黄赤に対し明度差は1.5以上とする	
			226 出入口部	NS-10 (1) 前扉は、扉開時作動範囲とする (2) 中扉は、ステップ端部から300mmとする (3) 滑りにくい材質又は、仕上げを施すこと (4) 市岡製足型マークを貼り付けること	
		230	床面押え板	通路段差部の端部は、黄色とする	F944参照
		240	床舟底張	床上張の熔着は、特に念入りに行い亀裂等の発生がないこと	
		250	水抜き金具	BD002-A 床に4～5個取付けること	
		270	車いす固定ベルト取付金具	メーカー標準 (1) 車いすの固定方法は、前1箇所、後2箇所とする (2) ボルトは、ステンレス材とする	K873参照
D300.	揚蓋	310	取付位置	メーカー標準	
		320	本体	メーカー標準	
		330	縁金	受枠及び縁金は、ステンレス材またはアルミニウム材とする	
		340	ロック装置	ボルトは、ステンレス材とする	
		350	引手金具	ステンレス材またはアルミニウム材とする	
D400.	足乗台	411	構造	ボックス式 ノンスリップ(IMV200-GR)張りとし、縁金及び台はステンレス材とすること	
D500.	タイヤハウス	510	前輪	511 構造	2 輪にタイヤチェーンを装着出来る構造であること

E 座席関係						
区分	項 目				仕 様	備 考
E100.	配列	110	形式		メーカー標準 都市型 (1)優先席は3席とし、左中扉前に2席以上の優先席を設置すること (2)前扉左側仕切棒より優先席足元スペースまでを荷物置台等の平らなスペースとし、タイヤハウス上の席は取除くこと また、荷物等が落下しないように柵を設けること (3)塗装等によりフロントガラスの映り込みを防止するように施すこと。また、上面には滑り止め用のマット等を敷設すること	左第1席
		120	座席数		メーカー標準	
		130	配置		メーカー標準	
E200.	上張	210	材質	211	モケット (1)一般席は、フレンドブルー（市岡製同等品以上） (2)優先席は、ユウセンダイLBU（市岡製） (3)優先席背当及び座面の上張りは、優先席マークが中央になるようにすること (4)最後部中央座面へ滑り止め加工を施すこと	
E300.	客席	310	銘柄・型式		メーカー標準（優先席前向き）	
		320	寸法	321	クッション幅 (車いす固定部の跳上げシートを除く)	
				322	クッション高さ (1)床面よりクッション上面までは、約380～430mmとする (2)足乗台部は、240mm以上とする (3)優先席は、クッション上面までを400～430mmとする（特殊部を除く）	
		330	シートパット	331	シートクッション	ウレタンフォーム
				332	シートバック	ウレタンフォーム
		340	背当板		メーカー標準（腰板と同色）	
		350	アームレスト	351	形状、材質 (1)乗降の容易さに配慮し、極力突起物のないものとし、「O」型とすること (2)客の衣服が引っかからない形状にすること (3)優先席はメーカー標準 または吊革オレンジ近似色	
				352	取付座席 前向席は全て通路側、または、両側に取付	
		360	アシストグリップ	361	形状、材質	メーカー標準
				362	肩部 (1)通路側のスタンションパイプの無いシートに取付けること (2)跳ね上げシート通路側に取付けること	
				363	背当部 (1)前向1人掛けシートの背に1個取付けること (2)2人掛けシートの背に2個取付けること (3)取付け位置は、別途指示する	
		370	脚		鋼管製 BS-4（グレー） (1)1脚はバケツが出し入れできる間隔を有すること (2)バケツの設置ができない場合は、別途指示する	K920参照
		380	特殊装置		(1)非常扉の前向き座席は、非常時脱出の妨げにならない構造であること (2)跳ね上げシート座から腰板間は同生地を着衣汚損防止保護カバー付けること	
E400.	最後部席	410	寸法	411	クッション幅 座下にロック受け金具を取付けること	
				412	クッション高さ 床面より座面上面まで450mm以下とする	
		420	シートパット	421	シートクッション	ウレタンフォーム
				422	シートバック	ウレタンフォーム
E600.	運転席	610	銘柄・型式		メーカー標準：ランバーサポート付	
		620	調節構造		前後上下調節式	
		630	シートパット	631	シートクッション	ウレタンフォーム
		640	ヘッドレスト		付またはハイバック式	
E900.	座席取付品	910	サイドクッション		メーカー標準	
		920	シートカバー		なし	
		970	シートベルト	971	銘柄、型式	メーカー標準：3点式E L R
				972	取付位置	運転席
				973	機能 (1)警告灯は、メーカー標準とする (2)装着せずにホイールパークを解除した場合にお知らせブザーが鳴動すること	

F 電装品関係							
区分	項 目				仕 様		備 考
F100.	前側面車外灯	110	前照灯	111	灯具・電球	メーカー標準 (1)すれ違い用は、ディスチャージ又はLEDとする (2)ビスはステンレス材とすること（以下の外板電装品も同様とする）	
				120	雾灯	メーカー標準	
		120	霧灯	121	灯具・電球	メーカー標準	
				122	取付位置	メーカー標準	
		130	前側面方向指示灯 (非常点滅灯兼用)	131	灯具・電球	メーカー標準	
				132	取付位置	前面左右に各1灯取付けること	
		140	側面方向指示灯	141	灯具・電球	メーカー標準	
				142	取付位置	(1)側面の左右に各1個取付けること (2)腐食が発生しない構造とする	
		170	車外照射灯	171	灯具・電球	レシップ製ST-A321A-LED 7S(20W相当) 台座カバーはステンレス材とし外板と同色に塗ること	
				172	取付位置	前扉・中扉の出入口上部に1個取付けること	
				173	機能	(1)前扉・中扉の何れかが「開」で両方点灯すること (2)両扉が「閉」で遅延装置動作後に消灯すること	
		180	路肩灯	181	灯具・電球	オージ製LL-11C1（同等品以上） (1)灯具に水が入らないように対策を施すこと (2)配線の接続は、圧着端子での施工は不可とする (3)裏側に配線収納BOXを取付けること (4)配線に弛みがある時は銅パイプ等の中を通して配線すること	
				182	取付位置	後輪前方左右外板に取付けること	
F200.	後面車外灯	210	尾灯	211	灯具・電球	メーカー標準	
				212	取付位置	メーカー標準 車両後部左右に取付けること	
		220	制動灯	221	灯具・電球	メーカー標準：角型	
				222	取付位置	メーカー標準 車両後部左右に取付けること	
		250	乗降中表示灯	251	種類	(1)車椅子用スロープ板使用時は、「車いすマーク」が表示点灯すること (2)扉開に連動して「乗降中」が点灯すること (3)アイドリングストップシステムが作動し、エンジン停止時も動作すること	
				252	銘柄、型式	レシップ製DFJ-154同等品	
				253	取付位置	車両後部左側に取付	
		260	番号灯	261	灯具・電球	メーカー標準	
				262	取付位置	メーカー標準	
		270	後退灯	271	灯具・電球	メーカー標準	
				272	取付位置	メーカー標準 後面左右に取付けること	
				273	機能	変速機を後退にしたときに点灯すること	
		280	標識灯	281	灯具・電球	なし	
				282	取付位置	なし	
		290	エンジンルーム灯	291	灯具・電球	メーカー標準、2灯	
				292	取付位置	1灯は、オイル点検が可能な位置に取付けること	
				293	機能	バッテリーリレーがOFF時も点灯すること	
F300.	車内灯	310	室内灯	311	灯具・電球	ゴールドキング製KDL-2B821TC（LED式20W相当）同等品 (1)昼光色、減光機能付き (2)フロントガラスの映り込みを軽減する照度にする (3)前側に遮光カバーを取り付けること (4)配線結節はコネクターを使用すること	
				312	灯数	メーカー標準：4灯以上とする	
				313	配置	千鳥式：運転席後を#1灯とする	
				314	回路	メーカー標準：2回路	
				315	調光	#1灯は減光（30％）に切替えが行えること（調光付）	
		330	出入口照射灯	331	前扉用	レシップ製SY-STP24-LED（LED式）×2灯 (1)1灯はステップをもう1灯は料金機を照射すること (2)ステップ上方の天井に取付けること (3)防眩カバーを付けること（約100mm）	
				332	中扉用	レシップ製SY-STP24-LED（LED式）×1灯 ステップ上方中央の天井に取付けること	
				333	機能	(1)前扉・中扉が「開」時点灯すること（昼夜切り替えスイッチ連動時） (2)手動で点灯が可能なこと（単動スイッチ敷設）	F849参照 F844参照
		350	読書灯	352	運転席用	24V用LEDランプ L=300mm T-MLD1（同等品以上） 取付位置はスイッチボックス前端部とする	F841参照 別添参考図（F-13）参照

区分	項 目			仕 様	備 考	
F400.	パイロットランプ	410	戸開知らせ灯	411 灯具・電球	IDEC製APN122DNR（赤色）同等品以上 カバー、銘板付	
				412 取付位置	(1)前扉用は、ダッシュ盤中央付近とする (2)中扉用は、前扉上部に乗務員向きとする	
				413 機能	(1)前、中扉開閉スイッチに連動して点灯すること	
		420	乗客知らせ灯	421 灯具・電球	IDEC製APN122DNG（緑色）同等品以上	
				422 取付位置	前扉上部の扉開知らせ灯の左側で、乗務員が確認できる向きに取付けること	
				423 機能	乗客が間接確認装置を遮断、または、戸先スイッチを作動させた場合は点灯すること	
		430	停車パイロットランプ	431 灯具・電球	ゴールドキング製PL-4CB（同等品以上）台座付 (1)一般席用の配色は、赤紫色とする (2)車椅子用の配色は、黄色とする	
				432 取付位置	ダッシュ盤中央付近とする (1)一般席用は、左側とする (2)車椅子用は、右側とする	
		440	ストップランプチェッカー		ゴールドキング製BLAH-24B（同等品以上） 取付位置は、ダッシュ盤中央付近とする。 但し、制動灯がLED式の場合は不要とする	
		450	方向幕ヒーター		(1)取付位置は、運転席右側スイッチボックス側面とする (2)パイロットランプは、乳白色13Φを銘板付とする	
		460	ミラーヒーター		同上	
		470	ニーリングパイロットランプ		車高を「通常走行状態」以外に設定している時は、点灯すること	
480	アイドリングストップパイロットランプ		アイドリングストップスイッチがオンの時は、点灯すること			
490	スロープ板パイロットランプ		IDEC製APN122DNY（黄色）同等品以上 スロープ板を使用している時は、点灯すること			
F500.	放送装置	510	ワンマンバス用放送装置	511 銘柄・形式	レシップ製OBCビジョンに含む。	K131参照
				512 本体	レシップ製OBCビジョンに含む。	K131参照
				513 マイクホン	なし	
				514 車内放送スピーカー	クラリオン製SPA-919-100（同等品以上） 天井に3箇所取付けること（メーカー標準） ビビリ音等、発生しないように対策すること	
				515 車外放送スピーカー	クラリオン製SPA-806-101（同等品以上） 中扉前側外板に取付けること	
				516 操作スイッチ	レシップ製DFLR-06-01（中古支給品） (1)運転席右スイッチボックスの上面扉スイッチ前に取付けること (2)操作機～本体間のシールド線の結線は圧着端子で行うこと	別添参考図 (F-1) 参照
				517 機能	誘導障害等の影響により雑音等が発生しないように、他の配線と結束しないこと	
				518 系統設定器	レシップ製DFLP-03-07（中古支給品） (1)ダッシュ盤左側に取付けること (2)施工前に図面を提出し承諾を得ること	別添参考図 (F-2, F-3) 参照 K136参照
				520 マイクジャック	クラリオン製PMA-016-100（同等品以上） 運転席右スイッチボックス側面または上面奥に、乗務員が容易に接触しないように取付けること	
				521 オートスタートユニット	クラリオン製バルス変換器CAA-190-510（同等品以上）を取付けること	
		540	ラジオ	541 銘柄、型式	クラリオン製CI-1200A-A改（同等品以上）	F611参照
				542 取付位置	(1)運転席右側に取付けること (2)施工前に図面を提出し承諾を得ること	同上
				543 アンテナ	クラリオン製PAS-265-100及びHBJ-425-100（同等品以上）	
				544 車内放送スピーカー	F541に含む	
		560	確認モニタ	561 左方・後方確認モニタ	クラリオン製CJ-7800（同等品以上） (1)左側ダッシュパンに取付けること (2)方向指示スイッチON・OFFでモニターも連動し映像を映すこと（左折のみ） また、切替で常時映像を映し出せること (3)バック信号ON・OFFでモニターも連動し映像を映すこと（バック優先とする） (4)モニターの昼夜切替えの電源線は、路肩灯に結線すること (5)取付位置、施工前に図面を提出し承諾を得ること	
				562 左方確認カメラ	クラリオン製CC-6100A（同等品以上） (1)左バックミラーステーにカメラ専用ステーを使用し取付けること (2)モニタに左側方の死角を軽減させられる映像となるように設置すること (3)モニター映像が、上(空)、下(地面)、右(前方)、左(後方)になるように取付けること	
				563 後方確認カメラ	クラリオン製CC-6500（同等品以上） (1)車両後上部の中央付近に取付けること (2)モニター映像が、上(進行方向)、下(バンパー)、右(左側)、左(右側)になるように取付けること (3)シャッター付とする	

区分	項 目			仕 様	備 考		
F600.	連絡及び警報装置	610	インターホン	611 銘柄・型式	クラリオン製CI-1210A-A改ラジオ付(同等品以上) (1)運転席右スイッチボックス部に取付けること (2)車両メインスイッチに連動し電源が入ること	最低音量保証, 電源スイッチ無効	
				612 マイクロホン	クラリオン製EMA-050-510 (同等品以上) (1)中扉後側外板に取付けること (2)前扉・中扉が同時に「開」, またはどちらかが「開」の時にインターホンで連絡が可能であること。 (3)扉が「閉」時には遅延回路により一定時間連絡が可能であること		
				613 スピーカー	F611に含む		
		620	乗客降車合図装置	621 銘柄・型式	ゴールドキング製DFPH-WSCT2-2 (同等品以上)		
				622 押ボタン及び表示装置	(1)押しボタンの色は, 朱色又は黄赤とし, 周囲との明度差が2以上あること (2)英字を併記しているものであること (3)銘柄, 型式 ①側窓柱, 側窓サッシ部及び天井握棒部 オージ製WS-A280-J1, WS-A280G-J1又はWS-A280GR-J1 (同等品以上) ②優先席 オージ製WS-A282-J1 (同等品以上) ③車いす専用 オージ製WS-A281-J1 (ボックス付) (同等品以上) ④スタンションパイプ (Hボール含む) オージ製WS-A282-J1 (同等品以上)		
				623 制御装置	運転席右肩部ボックスに取付けること		
				624 合図ブザー	無接点式, 本体に組み込み又は本体の付近に取付けること		
				625 リセットスイッチ	ゴールドキング製DFPH-RSWA(リセット・スイッチ一体型) (同等品以上) (1)計器盤部に取付けること (2)一般席及び車いす席用を各1個取付けること (3)押違い防止のため, 銘板を取付けること		
				626 点検スイッチ	(1)押しボタンスイッチの機能を点検するための点検スイッチを本体又はその付近に取付けること (2)扉の開閉に関係なく点検可能なこと		
				627 機能	(1)前扉・中扉「閉」時に押しボタンを押せばチャイムが鳴り, 押しボタンランプ及び停車パイロットランプが点灯すること (2)前扉・中扉の何れかが開くまで消灯しないこと (3)扉「開」時は作動すること (4)車いす専用押しボタンは, 座席の跳ね上げ使用時以外に, 機能しないこと		
				628 取付位置	(1)窓柱:床面より1,200mmに取付けること (2)天井握棒部:側窓毎千鳥に取付けること (3)車いす専用:右側跳ね上げ席座裏にボックスを作製し取付けること (4)スタンションパイプ (中扉支柱除):床面より1,400mmで後向き45度に取付けること		
				629 回路	配線は, 天井・右窓・左窓を別回路とする		
				630	後退ブザー	631 銘柄・形式	メーカー標準, 無接点断続音
		632 取付位置	車体後部に取付けること				
		633 機能	変速機を後退にしたとき吹鳴すること				
		640	非常扉警報装置	641 銘柄, 型式	メーカー標準		
				642 取付位置	メーカー標準		
				643 機能	非常扉レバーカバー取り外し時または非常扉「開」時に鳴動すること		
		660	緊急連絡装置	661 銘柄, 型式	アイデックAV031L3EA200K	F950参照	
				662 取付位置	スイッチボックス側面		
				663 銘板	スイッチ上に「緊急」と一文字7mmで貼付けること		
				664 SOS表示	後行先表示器		
		670	車間警報装置	671 銘柄形式	モービルアイSH+C	F971参照	
				672 取付位置	(1)運転の妨げにならないように取付けること。 (2)設置位置は別途指示する。 (3)保証対応期間は10年とする。		
F700.	窓用機器	710	ワイパー	711 銘柄・形式	メーカー標準, 間欠装置付		
				712 方式	メーカー標準		
				713 取付位置	メーカー標準 モーター及びリンク機構は, 脱着及び点検が容易なこと。		
		720	ウインドウォッシャ	721 銘柄・形式	メーカー標準		
				722 取付位置	メーカー標準		

区分	項 目			仕 様	備 考
F800.	スイッチ・ヒューズ及びフラッシャーユニット	810 計器盤の灯火器スイッチ	811 前照灯スイッチ	メーカー標準 (1)表示 (ISO)  (2)計器灯・車幅灯・尾灯・番号灯・スイッチ併設	
			812 霧灯スイッチ	メーカー標準 (1)表示 (ISO) 	
			813 非常点滅灯スイッチ	メーカー標準 (1)表示 (ISO) 	
			814 パイロットランプチェックスイッチ	メーカー標準	
		820 計器盤のその他のスイッチ	821 ワイパースイッチ	メーカー標準 (1)表示 (ISO) 	
			822 スタータスイッチ	メーカー標準、回転式	
			823 バッテリーリレースイッチ	メーカー標準 (1)表示 (ISO) 	
			824 集中給油装置スイッチ	なし	
			825 排気ブレーキスイッチ	メーカー標準 (1)表示 (ISO) 	
			826 I/Sスイッチ	メーカー標準 (押ボタン式) ダッシュ板右側に取付	
		830 その他の位置につくスイッチ	831 ホーンスイッチ	メーカー標準 (押ボタン式) ダッシュ板右側に取付	
			832 方向指示灯スイッチ	メーカー標準、レバー式 (前照灯減光スイッチを併設)	
			833 減光スイッチ	メーカー標準、レバー式	
		840 スイッチボックス側面スイッチ	841 配列	(1)上面 (前方から)安全喚起自動放送起動スイッチ、放送装置操作盤、前・中扉開閉スイッチ (2)側面 (運転席側) 読書灯 (スタップ用 F350)、路肩灯・ステップ照射灯、ミラー熱線、前方向幕窓ヒーター、昼夜切替スイッチ、調光、冷暖房等 (3)ボックス中 光電リレー切放、前扉反転切放、中扉反転切放、スロープ板切放	別添参考図 (B-1) 参照 F350参照
			842 室内灯スイッチ	(1)昼夜切替スイッチに含む (2)別途# 1 灯調光用を取付ける	F849参照 F841参照
			844 出入口照射灯スイッチ	照射灯各々に手動点灯用単独スイッチ付	F333参照
			845 路肩灯スイッチ	付	
			847 予備スイッチ	なし	
			848 室内灯調光器	ゴールドキング製またはレシップ製	
			849 その他	(1)銘柄：昼夜切替スイッチ (2)形式：富士電気製RC310-2M2501H1B (3)接続 ①出入口照射灯：昼夜切替スイッチが「夜」の時、各扉連動で各々が点灯すること ②室内灯：2 系統 ③車外照射灯：機能はF170参照 ④その他 電照広告器、O B C ビジョン、段差注意灯等 (4)予備接点を設けること	
		860 エンジンルームスイッチ	861 点検灯スイッチ	メーカー標準 (銘板付)	
			862 バッテリーリレーサブスイッチ	メーカー標準 (銘板付)	
			863 スターターセーフティスイッチ	メーカー標準 (銘板付)	
			864 スターターサブスイッチ	メーカー標準 (銘板付)	
	870 ヒューズボックス	871 銘柄・形式	871 銘柄・形式	メーカー標準とするが、1 回路 1 ヒューズを原則とする 各ヒューズ、各リレーに回路名の銘板付	
			872 取付位置	メーカー標準	
	880 フラッシャーユニット	881 方向指示灯用	881 方向指示灯用	メーカー標準	
			882 非常点滅灯用	バッテリーリレーがOFFでも動作すること	
	890 スイッチボックス	891 取付位置	891 取付位置	メーカー標準 (運転席右側) (1)上面は、ステンレス材の艶消とする (2)上面窓側に運行指示書設置台を設置すること	K365参照

区分	項 目				仕 様	備 考
F900.	配線・その他の電装品	910	回路図		別途、提出すること	
		920	配線	921	配線方法	別添参考図 (F-4) 参照
					(1) 回路の分岐は原則として機器端子で行うこと (2) 電線の途中の接続は行わないこと 接続する場合は十分に絶縁すること (3) エンジンルーム内の配線は、加熱部や燃料系の配管等を配慮し接触はしないこと (4) 間接確認装置及び放送装置の配線は、他の配線と同一にしないこと。 (5) ノイズ対策(換気扇等)はできる限り行うこと (6) 金属等の貫通する箇所は、振動等により短絡をしないように保護(ゴムプッシュ等)すること (7) 各ランプ類の配線は修理し易いように余裕を持たせること (8) 屋根上に露出の各配線等は固定すること (9) バスロケ用配線は、他配線からのノイズ対策を行い、アースは単独で接地すること (10) バスロケ取付位置からバッテリーリレー部へ予備配線2本をシールド線で準備すること (11) 運転席～エンジンルーム間の予備線を3本設けること	
				922	バッテリーコード被せ	＋極は赤色、－極は黒とする
				923	ターミナル形式	真鍮製の蝶ターミナルナットとする
		930	コンセント	931	点検灯コンセント	銘板付
				932	バッテリーコンセント	銘板付
		940	掲出用電装品	941	急停車注意灯	別添参考図 (F-5) 参照
				942	停留所名表示器	
				943	電照広告器	F849参照 別添参考図 (F-6) 参照
				944	段差注意灯	
		950	緊急連絡装置			F849参照
					(1) 後行先表示器に「SOS」表示する配線を敷設すること (2) スイッチボックス側面の緊急スイッチは結線すること	F660参照
		960	バスロケーションシステム	961	銘柄形式	
				962	取付位置	別添参考図 (F-12) 参照
		970	ドライブレコーダー			別添参考図 (F-7) 参照
		971	車間警報装置			F670参照
		980	安全喚起自動放送装置	981	銘柄形式	別添参考図 (B-1, F-8, F-9, F-10, F-11) 参照
				982	取付位置	
					(1) 運転席右スイッチボックス上面前方に起動押釦を取付けること。 また、図面を提出し承諾を得ること。 (2) 起動ボタン押下時のみ起動すること (方向指示器等には運動しないこと) (3) 昼夜音量の切替は、路肩灯より結線すること	

G 仕切構造及握棒						
区分	項 目				仕 様	備 考
G100.	運転席仕切構造	110	構造		メーカー標準（乗客が立席握棒として使用できる構造とすること）	
		120	仕切板		メーカー標準 (1) 上部H棒右にポリカーボネート板を取付けること (2) 上部仕切板の客席側に名札差し、急停車注意灯、電 照広告器を取付けること (3) 仕切板の客席側通路寄りにパンフレット入れ1個を 取付けること (4) 上下仕切板の運転席側にフックを各3個、赤旗と停 止表示板を取付けること (5) 仕切板下部客席ステップ側に雨水等の流れ止めを取 付けること	K366参照
		130	仕切棒		メーカー標準	
G200.	出入口仕切	210	前扉部仕切		メーカー標準	
		220	中扉部仕切		メーカー標準（乗客が立席握棒として使用できる構造 とすること）	
		230	仕切板		メーカー標準（両替器前部に隙間が生じた場合は、防 風板を取付けること）	
G300.	その他仕切	310	シート前仕切		メーカー標準（床段差部には握棒または手すりを設置 すること）	
G400.	握棒	410	天井握棒		メーカー標準（パイプは、全てステンレス材） 中央1本、左右各1本を取付けること	
		420	前扉昇降用握棒		(1) パイプ径は、25mm程度とする (2) 色は、朱色または黄赤とする (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げとすること (4) 乗降のための握棒を両側に設置すること	
		430	中扉昇降用握棒		(1) パイプ径は、25mm程度とする (2) 色は、朱色または黄赤とする (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げとすること (4) 乗降のための握棒を両側に設置すること	
		440	計器盤握棒		(1) パイプは、ステンレス材とする (2) 両替機左前に逆U型を、両替機前に設置する物が取 出す際に支障がない構造とすること	
		450	吊革		稲垣製BG135-E型 天井握棒に高さ（吊輪下端より）左右は、1,600mm、中 央は、1,630mmで取付けること また、取付及び配置等 は、図面を提出し承諾を得ること 優先席付近の吊革はオレンジ色とする	G410参照
		460	出入口上握棒		メーカー標準	
		470	立席握棒		メーカー標準 (1) パイプ径は、30mm程度とする (2) 色は、朱色または黄赤とする (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げとすること (4) 握棒及び手すりは、伝い歩きを考慮した配置にする こと (5) 縦握棒を座席1列ごとに1本配置すること (6) 車いすスペース（背が可倒式の座席を除く）は、そ の前後に配置すること (7) フロントタイヤハウス上部右側に手すりを配置する こと (8) フロントタイヤハウス上部左側に手すり伝い歩 き棒を配置すること (9) 前扉から両替機の間に手すりまたは握棒を配置する こと	E110参照
		480	車椅子用握棒		車いす利用者用の手すり取付けること	
G600.	その他	610	パイプ保護クッション	611	材質・形状	メーカー標準・BG024 クッション色は黄赤とする
				612	取付位置	(1) BG131-A (2) 前扉・中扉の仕切棒 (3) その他 G130, G210, G220, G310, G460, G470, G480

H 通風・冷房装置						
区分	項 目			仕 様		備 考
H100.	強制通風装置	110	天井換気扇	111	銘柄・形式 ゴールドキング製 VFM-234C-26（同等品以上）	
				112	取付位置 車内前・後各 1 個で、腐食・雨漏れが発生しない対策を施すこと	
		120	吸排気装置		H111に含む	
H200.	デフロスタ	210	温水式	211	銘柄・形式 三国製RD6AN-3（同等品以上）	
				212	本体 (1)放熱量は、4,000Kcal/h以上とする (2)脱着が容易にできること。	
				213	前窓吹出口 メーカー標準	
				214	運転席吹出口 (1)足元用を風量調整付で取付けること (2)右窓	
				215	スイッチ及び切替装置 メーカー標準	
				216	配管 (1)暖房装置の配管（温水）に接続すること (2)フレキシブルホースはステンレス製とする（床下配管除く） (3)その他についてはH314項参照のこと	
H300.	暖房装置	310	温水式	311	銘柄・形式 三国製RH4AR-22（同等品以上）	
				312	本体 (1)放熱量は、4,000Kcal/h以上とする (2)客席下に2台を取付けること (3)吹出口に防傷板を取付けること (4)端部にモール付	
				313	スイッチ及び切替装置 F840参照 1 台に付きスイッチ 1 個を銘板付で取付けること	
				314	配管 (1)エンジン冷却系統と独立した暖房系統を構成できるバイパスシステム、または、これと同等の性能を有するものとする。（暖房立ち上げ時に水温の上昇を早めるシステム） スイッチ操作、ONでエンジンと循環、OFFで車内のみ循環とし、水温サーモの取付けを無くし、スイッチによる作動のみとする。 操作銘板を取付けること (2)ホースバンドは、ステンレス製でパイプ、ホース径に見合ったホースバンドを使用のこと トライドンHSシリーズ（同等品以上） (3)室内は床上配管とし、右側腰板にそって配管すること (4)配管カバーはステンレス製とし、点検が容易なように分割式とする また、乗客が踏むところはアルミ筋板張りとする (5)配管はポリプロピレンパイプ3/4インチを使用し、接続はステンレス製フレキシブルパイプを使用すること (6)本体と主配管の接続部にはステンレス製フレキシブルパイプを使用し、接続部は、客室内に露出しないよう脱着式防護カバーで遮断すること (7)ラバーホースを使用する場合は、JIS規格D2602に適合し耐久性のあるものを使用すること (8)配管の各底部には、ドレンコックを設置すること (9)ストップバルブは不錆材料製ゲートバルブを使用すること (10)循環用水ポンプは、三国製ECP40A-8（同等品以上）を取付けること	
		330	ステップヒーター	331	種類 温水式	
				332	銘柄・形式 三国製RH4AR-22（同等品以上）	
				333	取付位置 (1)中ステップ付近で、中扉の雪等を溶かす位置に配置すること (2)その他はH312, H313, H314参照 また、図面を提出し承諾を得ること。	
		340	予熱温水式	341	銘柄・形式 エバスベヒャーミクニ製ハイドロニックL24（同等品以上）取付	
				342	本体 (1)燃料は、軽油とする (2)燃料ポンプ及び戻りホース取付	S814参照
				343	取付位置 メーカー標準 操作スイッチは、F840参照	
H400.	冷房装置	420	メインエンジン駆動式	421	銘柄・形式 メーカー標準	
				422	ダクト 上部は、風向き調節付の固定式とする 下部は、可変式とする 運転席は、シャッター付の可変式とする カバーに広告枠を取付ける	K410との関係に注意

J 車外取付品						
区分	項 目			仕 様		備 考
J100.	バンパ	110	フロントバンパ		メーカー標準	
		120	リヤバンパ		メーカー標準	
		130	バンパデッキ		メーカー標準（フロント）アルミ縞板	
J200.	ミラー	210	リヤビューミラー		大東製DI-Z-7（ヒーター入り）（同等品以上） (1)左側は、吊り下げ式とすること（走行中振れを起こさないこと） (2)右側は、直付け式とする (3)背面は、白色する (4)配線グロメットは穴埋めをすること	
		220	アンダーミラー		大東製DA-147（同等品以上） 背面白色	
		230	サイドアンダーミラー		大東製DA-200（220×170）（横長）-300R (1)左側ステーに取付けること (2)運転席に座って確認した際に、他のものと干渉しないこと (3)背面は、白色する	
J300.	表示	320	ワンマン関係表示	321	出入口表示 ステッカー式（英語表記記入） BJ107-C（入口） 位置は、中扉後側とする BJ103-C（出口） 位置は、前扉後側とする	
				322	インターホン銘板 BJ104を150%拡大する 位置は、インターホンマイク上部とする	
				323	車いす乗車表示銘板 (1)BJ007-A 中扉後窓BJ107-C（入口）上側に貼付けること (2)BJ011-A 前方向幕窓左側に貼り付けること	
				324	ベビーカー表示銘板 (1)BJ108-B 中扉後窓BJ107-C（入口）上側に貼付けること (2)BJ108-A 前方向幕窓右側に貼り付けること	
				325	EDSS装着表示銘板 BJ015 位置は、中扉後側窓ガラス下方前寄りとする	
J500.	前後面取付品	510	牽引用フック		メーカー標準（車体の前面・後面に各1個ずつ銘板貼付）	
		550	清掃用握手		形状、取付位置は、別途指示する	
J700.	床下機装品	710	ジャッキアップポイント		メーカー標準 (1)前輪・後輪の後側、横根太に左右対象1ヶ所ずつ取付けること（計4ヶ所） (2)ポイント部下面は、100×100mm以上の縞鋼板とする (3)泥除けと干渉しないこと (4)エアベローズの取替作業の妨げとならないこと (5)フレームの腐蝕等を考慮した十分な補強をすること	
		720	泥除ゴム		(1)前輪・後輪の後側に1枚ずつ取付ける（計4枚） (2)取付部に隙間がないこと。 (3)床下機器に支障がない場合は不要とする、	
		730	バッテリー格納装置		メーカー標準 (1)点検等の際は、容易に確認できること (2)補充する際は、給水が容易にできること (3)防蝕対策を十分に施すこと (4)メインスイッチ等を併設しないこと (5)バッテリーは、直角積みとする (6)引き出しローラー径は、出来る限り大きくすること	

K 車内取付品					
区分	項 目			仕 様	備 考
K100.	運賃機器	110	運賃箱	111 銘柄・形式	レシップ製LF-C-C0134（支給品） 別添参考図（K-1）参照
				113 大きさ	別添参考図（K-1）参照
				114 取付位置	運転席左側で乗客の通行を妨げないこと また、図面を提出し承諾を得ること
				115 取付台	(1) 高さは、通路床面より両替器上面（運賃投入口上面）まで1,045mm以下とする。（台の高さは約235mm） (2) 乗客の通行を妨げないこと (3) 下部にタイヤチェーン及びチェーンバンド3組が納められる格納箱を設けること (4) 腐食しにくい構造と材料を使用すること (5) 振れ止めの対策を行なうこと (6) 図面を提出し承諾を得ること K930参照
		120	整理券発行器	121 銘柄・形式	レシップ製LTM01-0283（中古支給品） 別添参考図（K-2）参照
				123 大きさ	別添参考図（K-2）参照
				124 取付位置	取付台上にK160と並列で右側（中扉側）に取付けること
				125 取付台	(1) 車内中扉後側とする（左後側タイヤハウス前側） (2) 上面の左側に取付けること (3) 整理券器脱着時の作業性を考慮した小扉を取付けること (4) 図面を提出し承諾を得ること
				126 操作盤	レシップ製O B Cビジョンに内蔵
		130	運賃表示器	131 銘柄・形式	レシップ製O B CビジョンDFL-1522（支給品） 別添参考図（K-3）参照
				132 配線方法	(1) 昼夜切り替えスイッチと連動で減光すること (2) L A N ケーブルの両端部には、接続する機器が分かるよう目印等で明記すること
				133 大きさ	別添参考図（K-3）参照
				134 取付位置	前方向幕裏蓋部に取付けること
				135 取付台	レシップ製取付ステー（L）、（R） 別添参考図（K-4）参照
				136 操作盤	レシップ製（支給品）（系統設定器） ダッシュ盤左側に取付ける また、図面を提出し承諾を得ること 別添参考図（F-2）参照
				137 電源スイッチ	O B Cビジョン用電源スイッチKDL-100（中古支給品） ダッシュ盤左側に取付ける また、図面を提出し承諾を得ること 別添参考図（K-5）参照
		150	乗客数計測器		
		160	I C乗車側アンテナ	161 銘柄・形式	レシップ製 SUA-11（支給品） 別添参考図（K-6, K-7）参照
				164 取付位置	K125上面の右側に台等を制作し取付けること また、図面を提出し承諾を得ること
		170	無線L A Nユニット	171 銘柄・形式	レシップ製 MP-7014（支給品） 別添参考図（K-8）参照
				174 取付位置	(1) 右第2柱（運転席右後方）付近でアンテナ先端の高さがガラス面の上端から出る位置に取付けること また、図面を提出し承諾を得ること (2) L A N ケーブルの両端部には、接続する機器が分かるよう目印等を明記すること
K200.	銘板	210	出入口用銘板	211 出入口扉車内銘板	英文字表記入 BK116-B 中ステップ上に貼付けること BK117-B 前ステップ上に貼付けること
				212 ステップ乗車注意銘板	BK118-E（折扉用）BK118-D（グライドスライド扉用） 前扉部に2枚貼付けること BK118-F 中扉部に2枚、中扉上部戸袋に1枚、中ステップ後仕切板に1枚を貼付けること
				213 扉開閉予告銘板	BK-113-B 中ステップ上に貼付けること
				214 自動扉注意銘板	BK-114 (1) 前扉がグライドスライド扉の場合は、支柱カバーに取付けること (2) 中扉は扉本体の上部に取付けること
				215 扉非常開閉表示銘板	BK112-A 入口、出口（非常コック）室内側に各1枚を貼付けること
				216 非常扉用表示銘板	BB058-B, BB058-C 床上1,200mm以上で非常扉ガラスの中央付近とする BK024 非常扉開閉ハンドルのカバーに取付けること
		220	禁止行為銘板	221 危険物持込禁止表示銘板	BK021-B 中ステップ後方に貼付けること
				222 禁止行為表示板	BK022-B 前扉・中扉上部に貼付けること
				223 禁煙銘板	BK023-D（ステッカー式） 前・後方向幕裏蓋に貼付けること

区分	項 目				仕 様	備 考
K200.	銘板	230	その他銘板	231	乗客降車合図表示銘板	(1)側柱は、押しボタン上部に貼付けること (2)天井は、進行方向に押しボタン後側で下端が前方、上側が後方になるように貼付けること (3)押しボタンに降車合図表示がある場合は取り付けなくてもよい
				233	事業者名銘板	「仙台市営バス」銘板（40×200mmアクリル板で地グリーン白色丸ゴシック文字）前方向幕裏蓋に取付 「仙台市交通局」銘板（40×200mmアクリル板で地白色黒丸ゴシック文字）前扉上部に取付
				234	ミッション操作位置銘板	メーカー標準
				237	暖房銘板	BK031-B ヒータ本体取付部腰板またはシート背裏に貼付けること
				238	その他の銘板	(1)BK042（頭上注意用表示銘板） 後方向幕裏蓋に貼付けること (2)BK043またはBK044（段差注意用表示銘板） ①中ドア後方床段差部（蹴込み・天井・仕切板前後通路側等）に取付けること ②天井に「ピクトグラム＋文字」を吊るすこと ③その他必要と思われる場合は、別途相談 (3)「バス優先にご協力お願いします」（400×200mm） 後面ガラス又は外板に保護シート付で貼り付けること
		240	座席・車いす関係銘板	241	車いす乗車位置表示銘板	BK025-C、BK025-D車椅子固定部腰板に座席毎に貼付けること
				242	車いす固定方法銘板	BK029-C 跳ね上げ座席部の前から＃1と＃2座席間の腰板に保護シート付きで貼付けること BK029-D 跳ね上げ座席部の前から＃3と＃4座席間の腰板に保護シート付きで貼付けること
				244	跳ね上げシート操作銘板	BK030-A BK029-B及びBK029-Dの下側に保護シート付きで貼付けること
				245	優先席用表示銘板	BK040-B 優先席付近の腰板に貼付けること
				246	ベビーカー位置表示銘板	BK121を貼付
				247	ベビーカー固定方法表示銘板	BK122-Aを貼付
K300.	掲出用具	310	車外向け表示	313	補助方向板	なし
		320	名札差し	321	名札差し	ゴールドキング製DDPY-270-G LED式（同等品以上） Hボール上部に取付けること 電源はメインスイッチ連動（常時点灯）
		330	路線系統図枠	331	路線図枠	広告枠を兼ねる。
				332	系統図枠	広告枠を兼ねる。
		340	広告取付用具	341	広告枠	(1)冷房ダクト部にレール式取付（9ベツ止め）区切り線を520mm間隔（紙寸515×365mm）で設置すること (2)ダクト及び内板の固定方法は、可能な限りステンレスリベットを使用すること (3)区切り1区画に対し巾40mmの透明アクリルバンド2本分を積込むこと
		360	その他用具	361	検査証入れ	BK011-A（外枠） (1)前方向幕裏蓋右側に取付けること (2)天井と同色に塗装すること BK011-B（ケース）積み込み
				364	記録簿入れ	Hボール運転席側に取付けること
				365	運行指示書設置台	スイッチボックス上面窓側に設置すること 安易に破損しない構造とすること
				366	パンフレット入れ	ゴールドキング製 MGCK-4K（同等品以上） 中扉前側仕切板、運転席後仕切板の客席側に「ご自由におとり下さい」銘板付で取付けること
				367	バインダー入れ	運転席右側にA4サイズのバインダー（240×330mm）を横向きで立てて収納できるケースを取付けること
K400.	遮光装置	410	サンバイザー		BK006 吊り下げ式取付（285mm×600mm） 運転席右窓にスライド式サンバイザー取付けること	別添参考図（K-11）参照
K500.	ミラー	510	室内鏡		BK101-B（大東DT-281） 前面窓上部中央に取付けること BK001（ボールジョイント型）（大東製DI-165） 右第1柱上部に取付けること 前面窓左側上部に取付けること	
		520	乗客直接確認装置		BK101-B（大東DT-281） 前面窓左側上部に取付けること BK102-B（ボールジョイント型）（大東製DI-226） 中扉ステップ後側上部天井に取付けること	
		530	前ステップ乗客確認アンダーミラー		大東製DA-200背面白色（同等品以上） 前ステップ上部に取付けること また、図面を提出し承諾を得ること	
K600.	荷物棚	610	運転席荷物棚		(1)箱型（H250mm以上×L480mm以上×W300mm以上） (2)運転席右天井部に取付けること (3)蓋は観音開きとし内部はグリーンラシャ、外部はレザー（天井同色）張りとする	

区分	項 目				仕 様	備 考
K700.	保安用具	710	消火器		蓄圧式ABC粉末タイプ（薬剤重量1.8Kg以上） (1)取付場所は別途指示する (2)床より20mm上げて取付けること (3)運転席や機器等に接触しないようにすること。 (4)消火器カバーを取付けること	
		720	信号炎筒		JISD5711ハイフレヤー5 運転席付近に取付けること	
		730	赤旗		BK013 運転席後仕切り板下部に運転席側にケースに入れて取付けること	G120参照
		740	信号灯		なし	
		750	車輪止め	751 個数	メーカー標準（BK005×2個 樹脂製）	
				752 格納位置	室内前扉付近に銘板付とする トラロープ（L=2200mm）両端に取付けること	
		760	工具箱		(1)箱型（H200. L350. W150mm以上） (2)BS-3塗りで蓋付とする (2)容易に取り外せる方法で固定すること（パチン錠等） (4)K790停止表示板が収納できること	
		770	物入庫		(1)内部ラシャ張りで外側腰板同色塗りとする (2)運転席付近床面に取付けること	
K800.	乗客サービス用品	790	停止表示板	791 取付位置	K760に格納または運転席仕切板下部に取付け	G120参照
		830	寒暖計		右第2柱付近で外気温の影響を受けない場所に取付けること	
		870	車いす固定装置	871 車いす固定位置・個数	(1)位置は、メーカー標準（車両右側で乗降口から3,000mm以内） (2)個数は、2台分とする	
				872 固定ベルト	(1)右#2・3席用 ①BK026-D×1本 ②BK026-E×1本 端末金具及び引掛け金具は、フラット型とする ③BK026-F×2本 端末金具及び引掛け金具は、フラット型とする (2)右#4・5席用 ①BK026-G×1本 引掛け金具は、フラット型とする ②BK026-H×2本 引掛け金具は、フラット型とする ③リトラクター付車両設置型（人保持用）×1本 端末金具は、フラット型とする ④(2)①は、右#3席脚に取付けること ⑤(2)②, ③は、右#5席後側に取付けること また、全体を覆う防塵用カバーを取付けること 引掛け金具に保護材（ゴム等）を取付けること	
				873 固定金具	BK028（前向き固定）	
				874 収納箱	(1)右#1席後に設置すること (2)K872(1)①～③が及びK875が収納できること	
		880	ベビーカー固定装置	881 固定ベルト	BK120-A 2台分を積込むこと ベルトの色は黒色とする	
K900.	その他	910	モップ格納箱		(1)大きさは、H200. L300. W150mm 排水パイプ付でステンレス製とする (2)中扉前側仕切板と、その前席間に取付けること (3)中扉前側仕切板のその前席側にモップ・ほうき掛け金具及び固定バンド等を取付けること	
		920	バケツ置き場		(1)位置は、E370参照 (2)格納時は、乗客等に影響を与えないこと また、バケツが転動しないようにステンレス製の受け金具を設置すること	バケツサイズ： 高さ200mm 上口300mm程度
		930	タイヤチェーン格納箱		(1)両替器取付台内に格納すること (2)タイヤチェーン及びチェーンバンド3組が納められること (3)チェーン収納時、格納箱止具がチェーンに干渉しないよう対策し、上蓋は揺動で開閉しないようにすること。 (4)材質は、ステンレス材とする (5)水抜きは、パイプ付とし水等が床に垂れ落ちないように留意すること (6)防振対策を施すこと	K115参照 タイヤサイズ： 275/70R22.5
		940	枕木置き		枕木の大きさは、120mm角、長さ750mmで、2本が固定して置けるものを設けること	
		950	寝板格納箱		寝板の大きさは、450mm×900mm t=5mmの合板で、1枚が固定して置けるものを設けること	
		960	スロープ補助板格納箱		補助板が固定して置けるものを設けること	A580参照

L 塗装						
区分	項 目				仕 様	備 考
L100.	防錆処理				(1)融雪剤に耐える材料を使用すること (2)下回り等 ①アンダーコート ・性能は、SBコート（東京化学塗料㈱）以上とする ・シャシ・パイプ関係も塗布すること ・タイヤカバー内面等腐食しやすい部分にも塗布すること ②防錆ワックス 性能は、ノックスラスト（日本パーカーライジング ㈱）以上とする (3)各部材内側 性能は、ホットワックス（日本パーカーライジング ㈱）以上とする	
L200.	塗料				ウレタン塗装	
L300.	外部塗装	310	デザイン		デザイン・塗装図については、図面を提出し承諾を得ること。	
		320	塗色		(1)BSU-6042（グリーン） 全体 (2)BSU-5014（ブルー） 帯，下 BSU-4018 イエロー 帯	
		390	補修用塗料		L320参照，L510参照 数量別途指示	
L400.	車内塗装	410	天井		(1)塩ビ鋼板の場合 BSP-4（淡グレー）とする (2)その他の材質の場合 BS-4とする (3)リベット・ビス類同色に塗ること (4)黄赤に対して明度差をつけること	
		420	窓柱被せ		L410参照	
		430	腰板		L410参照	
		440	計器盤	441 上面 442 下部	メーカー標準 (1)塩ビ鋼板の場合 BSP-4（淡グレー）とする (2)その他の材質の場合 BS-4とする	
		460	エンジンルーム隔壁		メーカー標準	
		490	扉内面	491 前扉 492 中扉	メーカー標準 L410参照	
L500.	外部特殊部塗装	510	バンパー		仕上げはシルバーとする	
		530	バッテリー格納庫内面		(1)耐酸塗料 (2)仕上げ後に、アンダーコートを面に塗布すること （ローラー及びレール部は除く）	
		540	ディスクホイール		メーカー標準	
		550	車外ミラー背面		白色	
		560	床下		L100参照 点検扉・リッドの裏面は黒色で塗装すること	
L600.	車内特殊部塗装	610	仕切板		L410参照	
		620	室内ミラー背面		メーカー標準	
		630	シート脚		L410参照	
		640	シートバック背面		L410参照	
L700.	マーク・文字等	710	ユーザーマーク		「仙台市紋章」（Φ240の黒色） 左右フロントタイヤ後方500mmの位置に貼付けること	別添参考図 （L-1）参照
		720	事業者名		「仙台市営」（白色，丸ゴシック） 窓下リヤタイヤハウス前端付近から，外板青帯内に貼付けること	
		740	ドレンコック表示マーク		BJ008を各リットに貼付けること	
		750	業態表示		「一般乗合」（左読みで60角丸ゴシック白文字） (1)左側2柱の後側（BJ103-C（出口）の後側），外板青帯内に貼付けること (2)右側2柱後の窓下，外板青帯内に貼付けること	
		760	ノンステップマーク及び文字		「ノンステップバス」（左読みで文字高さ85mm） (1)クリムゾンレッド（色番号：3M JS1225XL） 前面窓と左前照灯間の外板緑帯内に貼付けること (2)白（色番号：VC900） ①右側は前タイヤハウス付近，外板青帯内に貼り付けること ②左側は横方向幕ガラス付近，外板青帯内に貼り付けること (3)ネイビーブルー（色番号：3M JS1642XL） 後面窓とエンジンリット上端の中間，外板真中に貼り付けること	

M 積込品						
区分	項 目				仕 様	備 考
M100.	掃除道具					
M200.	各種装置キー				給油口キー	
M400.	保証書				別途指示	
M500.	説明書・配線図				別途指示	
M600.	その他	610	上敷		メーカー標準	
		660	車椅子固定ベルト		K870による	
		670	車椅子用輪止め		なし	
		680	ベビーカー固定ベルト		K880による	
		690	その他		点検ハンマー 工具 5 点セット袋入り モンキー200 プライヤー200 ドライバー (+100・+75・-100) 広告枠用アクリルバンド 検査証入れケースBK011-B 車輪止め：2 個 停止表示器 (ケース付) 固定補助ベルト：車椅子固定台数分 標準仕様 ノンステップバス認定標章ステッカー 3 枚	K341参照 K361参照 K751参照 K790参照 K870参照

IV 支給品一覧

メーカー	品名	引き渡し場所	参考図番	型式	備考	
レシップ(株)	前LED行先表示器	別途指示	C-1	DFE-C11WW-00	C320参照	本体のみ
	側LED行先表示器	別途指示	C-2	DFE-C22WW-00	C330参照	本体のみ
	後LED行先表示器	別途指示	C-3	DFE-C33WW-00	C340参照	本体のみ
	放送操作盤	交通局 各営業所	F-1	DFLR-06-01	F516参照	本体のみ
	系統設定器	別途指示	F-2	DFLP-03-07	F518参照	本体のみ
	運賃箱 (IC付)	別途指示	K-1	LF-C0134	K111参照	本体のみ
	整理券発行器	交通局 各営業所	K-2	LTM01-0283	K121参照	本体のみ
	運賃表示器 (OBCビジョン)	別途指示	K-3	DFL-1522	K131参照	本体のみ
	電源スイッチ (OBC用)	交通局 各営業所	K-5	KDL-100	K137参照	本体のみ
	IC乗車側アンテナ	別途指示	K-6	SUA-11	K171参照	本体のみ
	無線LANユニット	別途指示	K-8	MP-7014	K181参照	本体のみ

V 主要機器接続一覧

メーカー	品名	メイン電源	バックアップ電源	ドア連動
レシップ (株)	運賃箱 (IC付)	サブバッテリー	メインバッテリー	運転席スイッチ
	整理券発行器	サブバッテリー	メインバッテリー	ドアマイクロスイッチ
	運賃表示器 (OBCビジョン)	サブバッテリー	メインバッテリー	運転席スイッチorドアマイクロ
	無線LANユニット	サブバッテリー	メインバッテリー	
クラリオン(株)	マイクジャック (PMA-016)	メインバッテリー		
	インターホン (CI-1210A-A改)	メインバッテリー		ドアマイクロスイッチ
ゴールドキング (株)	電照式公告器	メインバッテリー		
	名刺差し	メインバッテリー		
その他	インターロック			ドアマイクロスイッチ
	光電リレー			ドアマイクロスイッチ
	バスロケーションシステム	サブバッテリー	メインバッテリー	
	ドライブレコーダー	サブバッテリー	メインバッテリー	